

たまのまちづくり通信

テーマ

～「新・人流港」へ!～

人が集い交流する瀬戸内の港町 玉野

発行：玉野市中心市街地活性化協議会事務局

〒706-8533 玉野市築港 1-1-3(玉野商工会議所内)

TEL:0863-31-5011 FAX:0863-31-5558

E-mail:info@tamanocci.jp

<http://www.tamanocci.jp/ccam/>

発行日：平成26年3月

中心市街地活性化基本計画 5年計画の3年目スタート

平成24年3月に国の認定を受けて以来、主な活性化事業(施設整備事業)として、24年度は「たまのミュージアム」、交流拠点 uz、瀬戸内温泉「たまの湯」がオープンし、街なか市街地整備事業(中心市街地地区)も24年度よりカラー舗装や中央公園の整備が始まっています。

今後とも、基本計画掲載事業の確実な実施とともに魅力ある《みなとまちづくり》のための集客の仕組みづくりに取り組み、賑わいの創出を目指していきます。

街なか市街地整備事業(中心市街地地区)

- ①道路美装化(10路線) 24～27年度
26年度は市役所北側及び中央公園周辺の側溝整備とカラー舗装
- ②中央公園魅力化整備 25～27年度
現在は園路整備中、26年度は多目的トイレ・健康遊具の整備
- ③4コマ漫画案内板設置 25年度完了
ののちゃんの4コマ漫画をエリア内10カ所に設置し、中心市街地の観光PRと来街者の観光意欲の向上を図る。

4コマ漫画案内板10ヵ所



玉野市イメージキャラクター 「ののちゃん」と4コマ漫画案内板



瀬戸内温泉たまの湯

瀬戸内温泉「たまの湯」は、間もなく開業から1年を迎えます。



玉野市中心市街地活性化基本計画の核施設である「たまの湯」は、昨年3月30日の開業以来、玉野市内を中心に岡山・倉敷地区からも多くのお客様が訪れています。

宇野駅前の広大な遊休地に市外からも集客できる温浴施設が誕生したことで、有形・無形の経済効果を及ぼすものとして期待されています。

「たまの湯」は、瀬戸内の海景を味わいながら、温泉やおいしい料理を満喫できるという魅力に加え、おもてなしに重きを置き、単に温泉や料理を提供する街中にあるスーパー銭湯等との差別化を図っています。現在は、お風呂・宴会・バス送迎をセットにした団体様向けのプランが好評で、特に年末年始は忘年会、新年会利用の多くのお客様で賑わいました。また、平日はお食事のみの入館もでき利用しやすく、年配の方などを中心に人気があります。

今後は、これまでのコンセプトを維持しつつ、開業1周年のイベントを皮切りに、「地域コミュニティ」としての機能を強化し、地元の方々に様々な形で利用していただけるような企画やサービスを充実させ、お支払いいただく金額以上の価値があるとお客様に思っただけのよう取り組んでいきます。



天然温泉入浴付きの宴会プラン

上は海廊懐石「月」コース(3,500円)。その他の懐石コースや鍋のコースも有り。また今春の歓送迎会やお花見帰りの利用にも最適です。
※要予約。無料送迎あり。

お知らせ 4/1より料金が改定されます！

消費税増税ならびに燃料費、仕入価格高騰に伴い、右記のように料金が改定となります。
※料金はいずれも税込。

◇入館料【中学生以上】

(一般)平日 1,500円 / 土日祝 1,700円

(会員)平日 1,200円 / 土日祝 1,400円

【小学生以下】平日 650円 / 土日祝 750円

円

【三歳未満】無料 ◎会員年会費 200円



たまのミュージアム

企画展示コーナーのご案内
(5/6まで)

現在、「ののちゃん」でおなじみの玉野市出身の漫画家、いしいひさいち氏の貴重な原画や作品などを特別展示しています。

「バイトくん」、「がんばれ!!タブチくん!!」、「おじゃまんが山田くん」他16作品69枚の原画や作品、グッズなど、いしいひさいちワールドをご堪能ください。

場所：メルカ・天満屋ハピータウン2階
開館時間：10:00～19:00
休館日：毎週水曜日
お問合せ：31-6131 **入場無料**

ぜひお越しくださいませ。必見です。

最後?最初? いしいひさいち 原画展

2013年12月19日(木)～2014年5月6日(火) たまのミュージアム

1972年岡山大学在学中に『週刊少年ジャンプ』に『バイトくん』、『週刊少年サンデー』に『おじゃまんが山田くん』を連載し漫画家デビューして以来、『四コマ漫画』の歴史を変えてきたといわれる程、斬新なアイデアで『四コマ漫画』の常識を打ち破ってきたいしいひさいち氏の、これまでに発表してきた16作品、計99枚の原画に加え、貴重な初期の作品、グッズ等を一大公開します。

●場所：たまのミュージアム ●入場料：無料
●期間：2013年12月19日(木)～2014年5月6日(火)
●主催：NPO法人たまの企画・公益社団法人玉野市観光協会
●後援：玉野市・玉野市教育委員会・玉野商工会議所・朝日新聞社・山陽新聞社・玉野市中心市街活性化協議会

宇野港周辺おもてなしイベントの開催

昨年11月2日から4日にかけて築港商店会・宇野商店会の主催により、たまの企画・観光協会・魚市場・タマヤ・メルカ天満屋ハピータウン・市役所などが協力して様々なイベントを開催しました。

【築港商店会】

ののちゃん4コマ漫画祭り、巨大4コマ制作、スタンプラリー、ののちゃんゲーム大会、「淡交会」お茶会、「とんぼ玉」体験教室、「駅東創庫」工作教室、宇野港ゆめ市場など

【宇野商店会】

「みどりの館みやま」地産地消、栄養改善協議会イベント、岡山県栄養士会の食事診断、「タマヤ」野菜・果物テント村、魚市場マグロ解体ショー、餅つき大会、アナゴ焼きそば、たまの温玉めしなど

期間中、築港・宇野会場で市内外から約10,500人の来場者があり、地域住民・民間企業・行政などとの協力体制による賑わい創出と宇野港周辺の魅力を発信することができました。

メルカ・天満屋ハピータウン会場



築港商店街会場



シーサイドマート会場



移住プロジェクト (うのづくり実行委員長 森美樹)

7年半で50組100人の定住人口増を目指して

平成24年6月から移住者支援に取り組み、現在までに18組33人の移住者を受け入れました。この4月から5月にかけて、横浜・神戸などから4組の方の移住受け入れを予定しています。今年のご目標は、移住して来られる方に紹介できる物件を、少しでも多く確保することにあります。現在10軒以上の物件を確保していますが、移住して来られる方は、それぞれに思い描くプランに合った物件を探されています。

皆様にも、お近くで利用されていない空き物件をご存じでしたら、是非当方までご連絡いただきますようお願いいたします。

「うのづくり」とは、・・・『うのに住(す)んで+つくる』

- ・定住人口・仕事の増加、空き物件の活用
- ・観光資源・賑わいの創出、文化拠点と連携
- ・交流拠点の設置と新たなコミュニティの形成
- ・HP URL: <http://www.unozukuri.com/>
(問合せ先) 森 美樹 TEL:0863-31-1388

クリエイター交流拠点「u z」

昨年の瀬戸内国際芸術祭の夏会期と秋会期においては、築港の「街中写真プロジェクト」の観光客などへの対応も含めて、毎日9時～18時まで営業時間を延長しました。カフェメニューにおいても、なかや宗義さんの協力を得て、温州みかんのソルベ・紫いもアイスなど4点を追加し季節感を演出しました。期間中は概ね順調に推移し、来客数も大幅に増え、地域住民や観光客の交流拠点としてご利用いただきました。

瀬戸内国際芸術祭終了後は、(月)・(火)の定休日以外の日にも移住希望者の物件案内等で休業するなど、不安定な営業が続いていましたが、今年4月からは運営の専従化を図り、安定的な営業に努めます。

どてきい部会 (吉本誠部会長)

幻のカニ「どてきり」を玉野名物にして街を元気に

高級食材「どてきり」の養殖実験を5年前から続けてきたが、陸地での養殖普及のための適性塩分濃度の調査など、データの蓄積もほぼ完了しました。これにより、昨年夏をもって野池での養殖実験を終了し、今後は参入する事業者を増やし、玉野ブランドの育成を目指していきます。

「アルスフラージュ」計画

(リゾートよし将から分譲マンションへのリノベーション計画)

5～10階の24室を全室オーシャンビューのオーダー型分譲マンションとして販売中ですが、現在約7割強が契約完了となっています。2～4階はアート空間ホテルとして改装し、宇野港一帯が眺望できる「みなと展望エリア」の居住施設として生まれ変わろうとしています。

また、2階のロビーには、玉野市出身の戦国武将イラストの第一人者「正子公也」氏の描き下ろし作品や地元作家の七宝焼き、備前焼、ガラスアートなどが展示され、アートスポットとしての回遊拠点にもなっています。

今後は、レストラン「どてきりや」の増改築に伴い、どてきりカレーなどを提供するカフェ、地産地消・特産品販売などのコミュニティ機能を強化する予定です。

アルスフラージュ

